県営水道の平成23年度の主な取組

平成23年度予算から、県営水道の主な取組を紹介します

❶ 災害や事故に強い水道づくり

- 大地震の発生に備えて、配水管の改良に耐震継手管を採用するなど、水道施設の耐震化を促進し、水道施設の基幹施設を対象に、想定される最大規模の地震に対する耐震診断を実施します。
  また、寒川・谷ケ原浄水場では、耐震診断結果に基づき、施設の耐震補強を計画的に実施します。
- 災害に強い水道づくりをめざして、浄水場系統間及び隣接する他の水道事業者間の相互融通化とバックアップ体制を強化します。

❷ 安全でおいしい水づくり

- 浄水場から送り出す塩素濃度を低減し、かつ、浄水場から離れた末端給水栓でも水質基準を満たすよう、自動水質測定装置のデータを基に、途中の配水池等で塩素を追加できる設備を計画的に設置します。
- 鉛を使用している給水管について、計画的に取替え工事を実施し、平成27年度までに解消します。

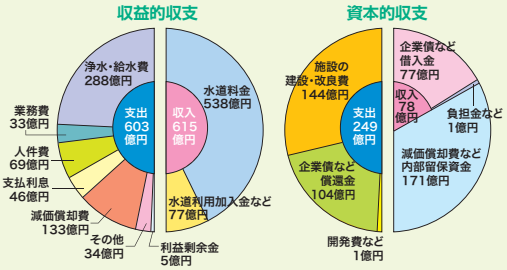
❸ 安定した水の供給

- 水道営業所・浄水場で、配水池やポンプ所等の施設の整備・更新、水道管の漏水修理をすることにより、安定給水を確保します。
- 老朽化している水道管を耐震性の高い鋳鉄管等に取り替え、安定給水を確保します。

水道事業会計当初予算

○収益的収支…水をきれいにしてお届けすることにより料金をいただくという県営水道の営業活動に係る予算です。

○資本的収支…水道施設の建設や改良工事に係る予算です。



❹ 環境に配慮した事業の推進

- 二酸化炭素排出量の削減を図るため、全水道営業所と寒川浄水場にリースにより導入した電気自動車(EV)を業務に活用します。

❺ お客さまニーズへの対応

- お客さまコールセンターで、新たに10月からFAXによる受付業務を行います。
- クレジットカードによる上下水道料金の支払の導入を目指し、上下水道料金管理システムの改善に着手します。
- 相模原水道営業所の平成24年度移転に向けて、庁舎を新築します。
  また、災害対策のための非常貯水タンク及び環境に配慮した太陽光発電設備を設置します。

事業者の方へ

給水区域内の企業等が、地下水利用から県営水道の供給に切り替えた場合の水道料金と水道利用加入金、研究所等を立地する場合の水道利用加入金を減免します。

❶ 地下水利用から県営水道(業務用料金)の供給に切り替えた場合

- 地下水を県営水道に切り替えたことによる水道使用量の増加量が1,000㎥以上の月について、増加した水道使用量に対する水道料金の40%を減免します。
- 地下水の全量を県営水道の使用に切り替える場合の水道利用加入金の50%を減免します。

❷ 研究所、本社又は工場を立地する場合

- 製造業等に係る研究所・本社・工場を立地するため設置する給水装置の口径が50㎜以上、かつ、増加する1日最大使用水量が50㎥以上となる場合、水道利用加入金の20%を減免します。(管理者が別に定める額に係るものについては、50%を減免します。)

＊問い合わせ先

県企業庁経営課　経営企画グループ　☎ 045-210-7219
(減免手続は、お客さまの給水区域の各水道営業所で行います。)

ホームページでも紹介しています。
http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/kigyosomu/singenmen.htm

学校直結直圧式給水方式の検証事業の取組

学校の給水方式は、災害や事故等でも断水を回避できるよう受水槽に一度貯めてから給水していますが、夏場等は水温が上昇し、味を損ねることがあります。

そこで県営水道では、次の世代を担う子どもたちに水道水のおいしさを実感してもらうため、校舎内や校庭にある水飲み場の配管を、受水槽を経由しない直結直圧式に切り替える事業を行っています。

なお、トイレや給食室などは、断水でも利用できるように、従来どおり受水槽による給水方式となっています。

また、この事業は、平成２２年度から平成２４年度までの３年間で、給水区域内の公立の小・中学校から１年間に３校のモデル校を選定し、合計９校で実施する計画です。平成２２年度は平塚市、藤沢市、大和市の小学校で事業を実施しました。平成２３年度は鎌倉市、茅ヶ崎市、海老名市の小学校を予定しています。

検証事業を実施した小学校(３校)のアンケート結果

対象者:４年生から６年生の児童

Q 学校でいつも何から水を飲んでいますか?

A 学校のじゃ口(校内・校庭の水飲み場)
工事前 46.6% → 工事後 61.2%

A 家から持ってきた水筒・ペットボトル
工事前 18.7% → 工事後 13.2%

検証事業を実施した学校の紹介(平塚市立八幡小学校)

6/1~7は水道週間です。

県営水道では、「水道週間」にあわせて、水道水の安全性やおいしさを実感していただくイベントを行っています。お気軽にお越しください。

1 水道週間キャンペーン

みなさんの近くでイベントを行います。水道に関する相談コーナーやオリジナルグッズのプレゼントもありますので、ぜひお立ち寄りください。

6月2日(木)	11時～13時	JR平塚駅北口	
6月3日(金)	10時～12時	小田急線本厚木駅北口	
6月4日(土)	10時～12時	相鉄線・小田急線海老名駅東口	海老名中央公園内
6月6日(月)	11時～13時	小田急線相模大野駅南北通路	
6月7日(火)	10時～12時	JR・江ノ電鎌倉駅西口時計台広場	

2 浄水場開放見学会 [6月5日(日)10時～15時]

浄水場の見学のほか、太陽光発電システムの紹介などを行います。

※会場での飲食、ペットをつれてのご来場はご遠慮ください。
※谷ケ原浄水場に隣接した城山ソーラーガーデンでは、太陽光発電の施設見学を同時開催します。(問い合わせ先:相模川発電管理事務所　☎ 042-782-0821)寒川浄水場では、太陽光発電の施設見学もあります。

寒川浄水場
高座郡寒川町
宮山 4271
☎0467-75-1056
JR相模線 宮山駅徒歩10分

谷ケ原浄水場
相模原市緑区
谷ケ原2-6-1
☎042-782-2626
JR・京王線橋本駅からバス三ヶ木行き約20分
久保沢バス停下車徒歩5分

Event calendar イベントカレンダー

水道週間以外のイベントを紹介します

実施日		イベント名称	場　所	問い合わせ先	備　考
7月	29日	水・自然エネルギー体験イベント等	やどりき水源林他	(財)神奈川県企業庁サービス協会　営業課 ☎ 042-768-0223	事前申込制。他に8月3日、11日、17日イベント有。 詳しくは http://www.ksk-kanagawa.or.jp/
8月	18日	漏水調査体験イベント	水道記念館	水道記念館 ☎ 0467-74-3478	当日申込制。雨天の場合は19日実施 詳しくは http://www.kappy.jp/
9月	3日	水源林保全体験イベント等	宮ヶ瀬ダム他	水道記念館 ☎ 0467-74-3478	事前申込制。他に9月16日、10月1日イベント有。 詳しくは http://www.kappy.jp/

水のある風景写真コンテスト作品募集

人と水とのふれあい、水が写った美しい景色など、私たちの身近でも素晴らしい風景があります。そんな風景を写真にしてご応募ください。

※ 撮影対象地域は、県営水道の給水区域内と県内の水源地域(海を除く)です。

■応募条件

- 神奈川県営水道給水区域内で撮影したもので水が写っているもの、または県内の水源である河川やダム・湖(相模川・酒匂川及びその支流、相模湖、丹沢湖、宮ヶ瀬ダム等)が写っているもの。
- 平成22年7月1日以降に応募者本人が撮影した未発表の写真。他のコンテスト等に応募されたものは不可。
- フィルム、デジタルの両方可。写真は２Ｌサイズ(127mm×178mm程度)、カラープリント、単写真(１枚でテーマが完結する写真)。意図的な合成や削除をしたものは不可(暗室作業での合成や特殊効果も不可。)。トリミング、コントラスト、カラーバランス等の画像調整は可。

■応募先・問い合わせ先▶〒231-8588　県企業庁経営課管理広報グループ「水のある風景写真コンテスト」係　☎ 045-210-7215

■応募にあたっての注意事項▶1人何点でも応募可／応募作品の使用権は主催者に帰属します。／被写体に人物が含まれる場合、主催者は肖像権の侵害等の責任は負いません。／応募作品の返却不可／応募作品は、企業庁の広報用として利用することがあります。また、その際、作品の原版(ネガ、ポジフィルム、データ)を提出していただくことがあります。／応募の条件に違反した場合は、入賞を取り消すことがあります。

■応募期間▶平成23年6月1日(水)～8月31日(水)

■応募方法▶右の応募票(コピーして使ってください。同内容なら自作可。)に記入の上、応募作品1枚ごとに裏面に貼りつけ、送付してください。

■表彰等▶最優秀賞１点、優秀賞１点、優良賞５点、佳作５点を選出し、入賞者に賞状及び副賞を贈呈します。
入賞者へは直接通知するほか、広報紙「さがみの水」の紙上で発表します。

平成23年度「水のある風景」写真コンテスト応募票

撮影データ	題　名	
	撮影年月日	平成　年　月　日
	撮影場所	(市町村名　)
	作品コメント	
(フリガナ)氏　名		
住　所		〒
電話番号		(　)
※受付番号(主催者記入欄)		